

2005 年度上期 IA サーバ国内出荷調査報告

ノークリサーチ (本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5 : 代表伊嶋謙二 03-5629-2163、URL:http://www.norkresearch.co.jp)では2005年度上期の国内IAサーバの出荷状況を調査した。2005年度の予測も併せて調査、報告している。

<2005 年度上期 IA サーバ市場のポイント>

05 年度上期 IA サーバ市場は好調を維持して、上期過去最高の出荷実績

- 台数は対前年比 17.3%アップで、239,100 台へ
- 金額市場は 4.3%の微増。サーバの平均単価は下げ止まり傾向見える

景気回復の流れは投資意欲に反映し民需、官庁需ともに好調に推移

NEC とデルの 2 強時代に突入。トップ NEC にデル肉薄

目立つ NEC、デルの大型案件。あわせて 1 万台以上の特需

タワー、ラック (薄型)、ブレードそれぞれに堅調に増加。ブレードは全体の 7%の割合

2005 年度は 13.4%増で 50 万台市場へ突入

対象期間 : (2005 年度上期実績) 2005 年 4 月から 2005 年 9 月

(2005 年度予測) 2005 年 4 月から 2006 年 3 月

対象メーカー : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 自主統計参加及び未参加メーカー
日本電気、富士通、デル、日本 IBM、日本 HP、日立製作所、東芝、
三菱電機など

対象機種 : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 定義に準ずる

調査方法 : 当該メーカーに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

調査期間 : 2005 年 11 月

[2005 年度上期出荷状況]

- 対前年比 17.3%アップで、市場規模は 239,100 台へ -

2005 年度上期は対前年比 17.3%アップで、上期ベースで過去最高の 239,100 台市場となった。2004 年度以降引き続き全体的な景況感が良好で、投資意欲が上昇したことが要因だ。特に製造業、流通業の中堅から大手企業を中心に情報系サーバの増設利用が目立った。金融業、証券も好調に推移した。また大都市圏を中心としたインターネット関連企業なども需要を牽引している。

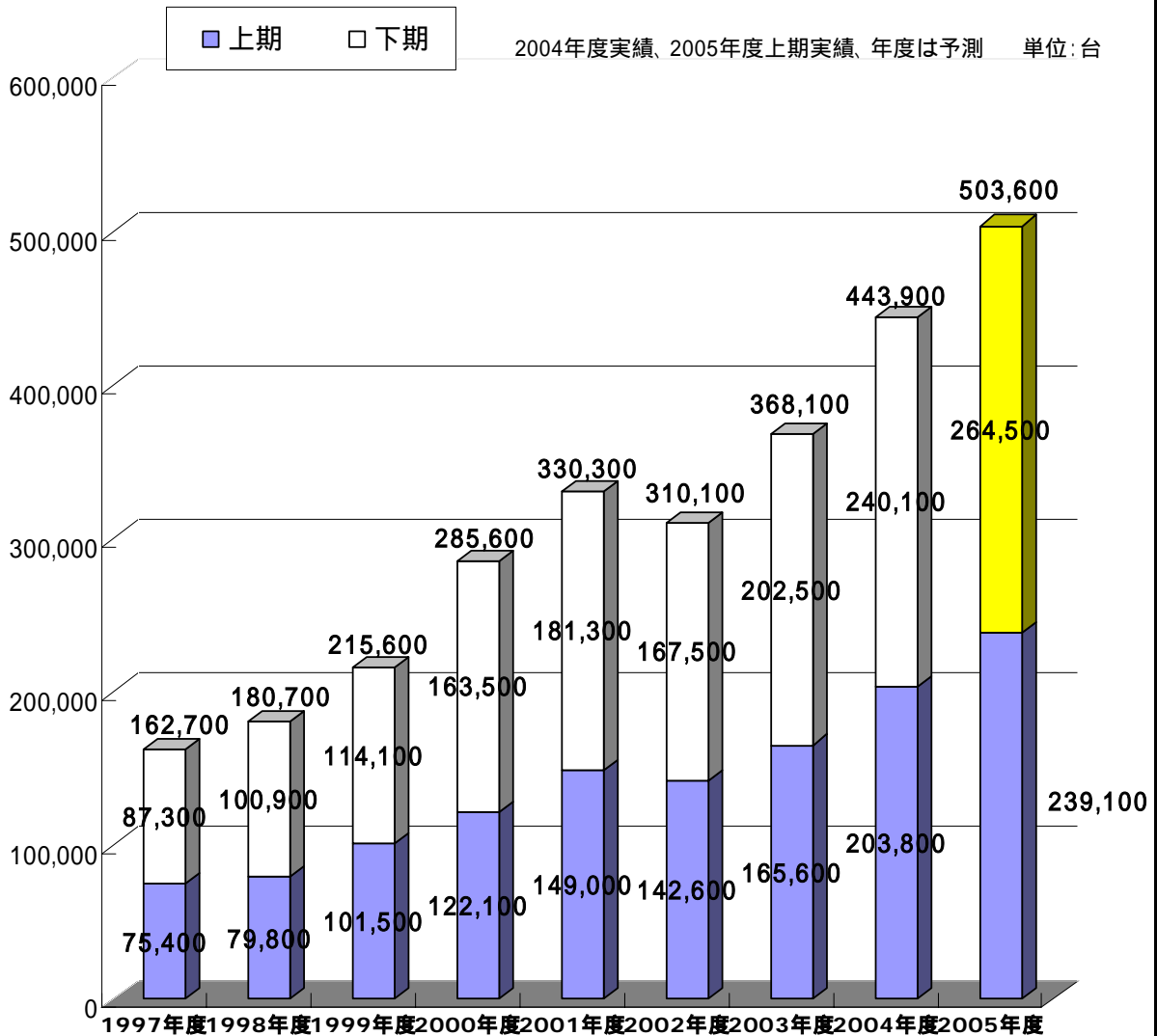
また NEC のブレード、デルの製造業大手企業へのロット商談に見られるような超大型案件の存在も上期の好調を助長した。

金額市場は、引き続き低価格サーバの需要が高いため、依然として平均単価の下落傾向にある。一方では、2P ラック型サーバ、ブレード型サーバなどの増加により極端な平均単価の下落とまではいかず、金額市場は 4.3%アップの 1,364 億円となっている。むしろ平均単価は下げ止まりの傾向といえよう。

国内IAサーバ総出荷台数推移/予測（97年度から2005年度上期実績、年度予測）

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	合計	前年比
1997年度	75,400	151.4%	87,300	124.0%	162,700	135.4%
1998年度	79,800	105.8%	100,900	115.6%	180,700	111.1%
1999年度	101,500	127.2%	114,100	113.1%	215,600	119.3%
2000年度	122,100	120.3%	163,500	143.3%	285,600	132.5%
2001年度	149,000	122.0%	181,300	110.9%	330,300	115.7%
2002年度	142,600	95.7%	167,500	92.4%	310,100	93.9%
2003年度	165,600	116.1%	202,500	120.9%	368,100	118.7%
2004年度	203,800	123.1%	240,100	118.6%	443,900	120.6%
2005年度	239,100	117.3%	264,500	110.2%	503,600	113.4%

国内IAサーバ市場推移

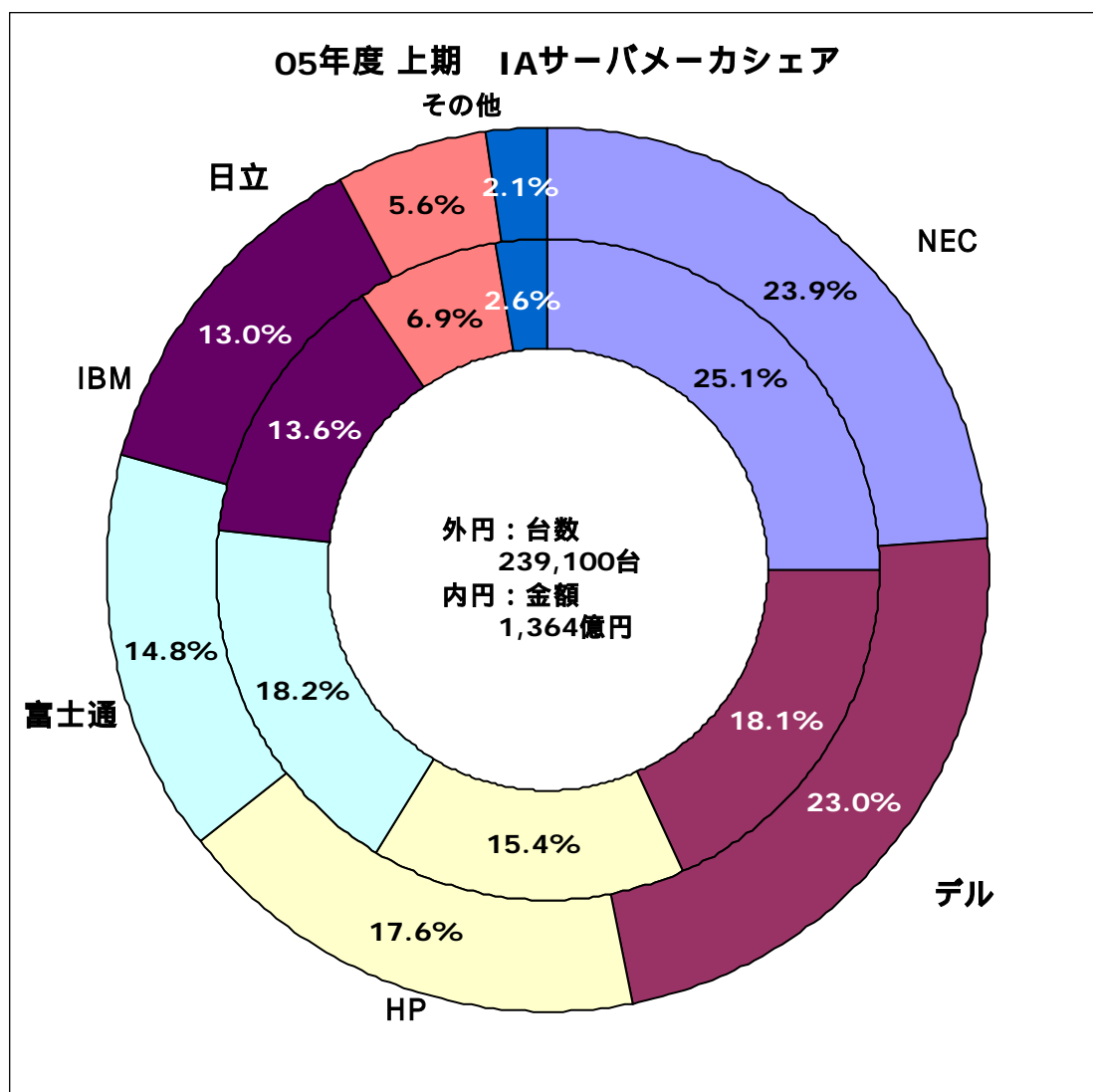


[2005 年度上期メーカーシェア]

- トップ NEC にデルが肉薄。シェア争い 2 強時代へ突入か？

メーカーシェアでは NEC が 23.9%のシェアで依然トップだが、デルが大型受注による攻勢でトップ NEC に 1 ポイント以内の 23.0%と肉薄している。相対的に HP、富士通、IBM はシェアを落としている。

NEC は全国の地域販売店のチャネル販売と官公庁、大企業向けの直販力と幅広い製品対応、多くの既存ユーザの実績による安定感が強みだ。特にブレードでは千台規模の大口径案件を複数受注など、一挙にブレード実績を高めた。業種別では製造業をはじめ、インターネット関連の通信業界は好調で、大口需要が発生している。金融、証券業においても実績を高めている。2 番手のデルは相変わらず独自の直販方式である広告展開と WEB や電話による企業の情報系サーバに狙いを絞った展開で絶好調であった。また製造業大手企業への 6,500 台の大型受注などがあり、上期で NEC に台数シェアで肉薄している。HP は得意の 2P のラックが堅調に推移したが、上位 2 社には若干シェア的には差をつけられた。1Pサーバの実績が上位 2 社に比較した場合目立った実績が無かったのがその要因だ。富士通は上位 3 社に比べ台数的な伸びはなかったが、流通業、製造業を中心に 2P サーバで実績をあげ、平均単価の上昇など金額面では伸ばしている。



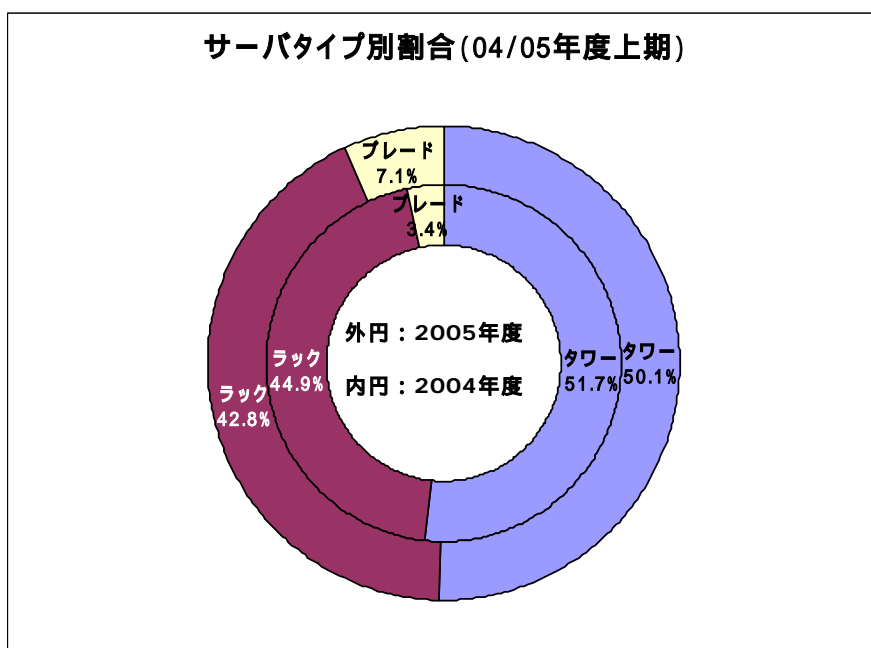
[2005 年度市場展望]

- 2005 年度は 13.4%増で 50 万台市場へ突入

下期は景気回復もさらに進むことが予想され、中堅企業から大企業を中心にサーバへの投資意欲はさらに高まることが予想される。中小企業においても情報インフラ系の導入がさらに進み、全国規模で導入が活発化することが予想される。IT 投資減税が来年 3 月で打ち切りということもあり、駆け込みの需要もあわせて、年度末需要が期待される（ただし条件付で IT 投資減税が延長される見込み）。

また 1P のタワー型によるエントリ、2P のラックともに好調に推移している。ブレードも上期で 7% の割合を占めるまでに出荷されていることから、年度では 10% 近い実績を残すことが予想される。クラスター的な用途以外のサーバ統合や特にネット関連で急激に増加したユーザに対応するなど、新規ネットサービス展開している企業などでの需要が最も期待される分野だ。

2005 年度トータルでは 503,600 台、11.3% の伸びで、50 万台超の市場となることは確実だ。



当調査データに関するお問い合わせ



ノーク・リサーチ

担当：伊嶋 謙二 いしま

e-mail: pressr@norkresearch.co.jp

〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4 - 12 - 5

電話 5629 - 2163 FAX 5629 - 2164

URL: <http://www.norkresearch.co.jp>